

情報システムのあり方の検討について(案)

1. 情報システムの分析・検討・設計等の結果と性能対策の実施について

自動車リサイクルの情報システムは、自動車リサイクル全体の「金・物・情報」の流れを確実に関連付けする仕組みであり、自動車リサイクル法の本格施行にあたり、当時想定される要件を充足すべく構築したうえで稼動を開始した。

稼動後5年になるが、システム構造の複雑化による性能悪化に伴う問題の発生を軽減させるため、システム最適化などあらゆるメンテナンス対応を講じてきた。しかし、これら通常のメンテナンスの範囲内での対応のみでは限界となりつつあり、近い将来におけるシステム停止などの重大な事態を回避するためには、今般、性能悪化の諸問題を勘案した抜本的な情報システムの性能対策を取る必要のあることが判明した。

平成21年12月開催の資金管理業務諮問委員会での承認を受け、資金管理法人は情報システムの分析・検討・設計等を実施し、その結果は「別紙1」のとおりである。本結果に基づき、性能悪化の諸問題を勘案した性能対策を含む情報システムの刷新を実施することとしたい。

2. 情報システムの性能対策に要する費用の負担方法について

平成16年3月17日に開かれた第6回 産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG、中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会自動車リサイクル専門委員会合同会議(以下、「第6回合同会議」という)で、イニシャルコストおよびランニングコストの自動車ユーザー(資金管理料金、情報管理料金)と自動車メーカー・輸入業者による費用負担の考え方(「別紙2」参照)が示され、また、情報システムに係る特定再資源化預託金等(以下、「特預金」という)の使われ方の考え方についても示されたことから、本考え方に沿って情報システムの性能対策に要する費用の負担方法を整理した。

(1) 情報システムを共用する関係者の費用負担の区分について

本情報システムは、資金管理法人および情報管理センターをはじめとした関係者で共用され、その維持管理に要する費用は、年度毎に関係機能毎の処理件数とデータ量、プログラム規模を組み合わせた比例配分方式で按分比率を算定し、関係者が各々負担している。

現在検討している情報システムの刷新に要する費用の総額は約 円(注)であるが、平成22年度の按分比率を用いて試算した場合、資金管理法人および情報管理センター合計で約 円を負担することとなり、残る約 円は指定再資源化機関、指定法人でない一般社団法人自動車再資源化協力機構およびASRチーム(TH、ART)が負担することとなる。(「別紙3」参照)

(注) 今後、予定価格の精度向上・競争入札の実施などにより、費用削減に努める。

(2) 情報システムの性能対策とメンテナンスの区分について

現在検討している情報システムの刷新作業を効率的に進めるため、情報システムの性能対策と定期的に行うメンテナンスを同時並行で実施することとしている。

前述(1)での資金管理法および情報管理センターが負担する約 〇〇〇 円には、メンテナンス費用約 〇〇〇 円が含まれており、そのメンテナンス費用は第6回合同会議における費用負担の考え方のランニングコストとして整理済みである。

他方、情報システムの性能対策費用約 〇〇〇 円は、制度制定当初には想定し得ない大規模、且つ定常的に措置されるものでない特別な対応にかかる費用であり、費用負担の考え方に記載のある「情報システムの大規模な改造」に該当することから、当該費用について、特預金を充てることとしたい。(「別紙3」・「別紙4」・「参考」参照)

※原資となる特預金の平成22年3月末における残高は、55.5億円である。

(3) 事業年度別の特預金の出えん等について

情報システムの性能対策の実施期間は3年程度を要し、その進捗度合い等によっては費用が変動する可能性が高いことから、資金管理法および情報管理センターは、各事業年度において確定した費用を資金管理業務諮問委員会に提示し、特預金の出えん等について審議・承認をいただくこととする。(「別紙3」参照)

3. 今後のスケジュール(案)

	平成21年度		平成22年度										
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大日程			●本日の資金管理業務諮問委員会(情報システムのあり方の検討:3時間)	○資金管理業務諮問委員会			○資金管理業務諮問委員会			○資金管理業務諮問委員会			○資金管理業務諮問委員会
資料構成	●経過報告	①情報システム構成要素の整理と分析 ②サービス水準の調査 ③情報システムにおける課題 ④性能対策の費用負担の整理方法について(案)		●情報システムのあり方の検討	●情報システムのあり方の検討のまとめ			●情報システムの分析・検討・設計等の報告 ●次世代情報システムに係る検討 ●性能対策の費用負担の検討					
作業内容	■情報システムのあり方の検討資料の作成	■まとめ資料作成	■諮問委員事前説明	■技術仕様の検討	■技術仕様の検証、移行後の効果予測、実施計画の策定			■ベンダー選定に係る入札実施、性能対策に係る実施計画の作成					
				●入札に係る意見招請の公示	●意見招請結果の公示	●入札公示				●落札者公示			●契約締結

以上